

北名古屋市総合計画及び名古屋市との合併 に関する市民意識調査報告

平成28年12月

1 調査の概要

(1) 調査の目的

調査票を2部構成とし、第1部では、次期（第2次）北名古屋市総合計画の策定にあたって、市民の市の施策に対する評価、日常生活における意識や意見を聴取する。第2部では、名古屋市との合併に関し、現段階における市民の意向を把握する。

(2) 調査対象及び方法

住民基本台帳を基にして、男女別に15歳以上の方から年齢・大字ごとの人口の比率を考慮して対象者4,000人を無作為抽出のうえ、郵送により配付・回収

(3) 調査実施期間

平成28年9月26日（月）から同年10月18日（火）まで

2 回収結果

(1) 発送数

4,000票（うち、あて先不明等による未配達13票）

(2) 有効回収数

2,165票

(3) 有効回収率

54.3%（2,165票／3,987票）

3 集計方法及び結果の表示方法

(1) 図中の構成比（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。

(2) 複数回答の場合の回答割合（%）は回答者数を母数としており、合計は100%を超えます。

第1部 総合計画に関する質問

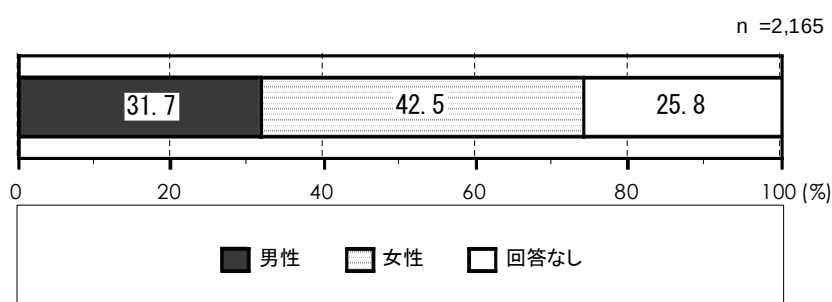
1. 回答者の属性

問1 あなたご自身のことについて、当てはまるものをそれぞれ1つずつ○印をつけてください。

(1) 性別

○「男性」が31.7%、「女性」が42.5%となっています。

図表1-1-1 「性別」

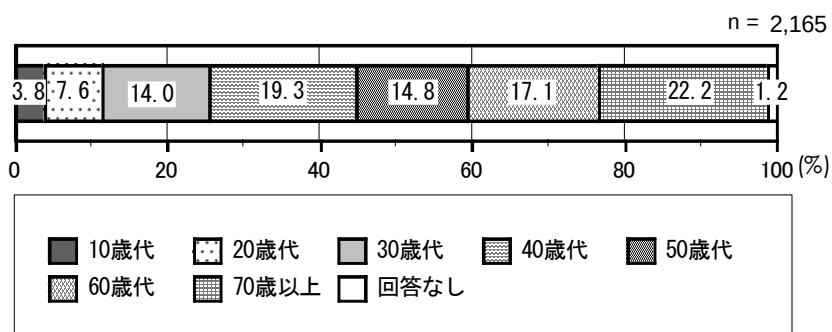


(2) 年齢

○「70歳以上」が22.2%と最も多く、次いで「40歳代」が19.3%、「60歳代」が17.1%となっています。

○「50歳代」と「30歳代」は15%弱ですが、「20歳代」が7.6%、10歳代は3.8%となっています。

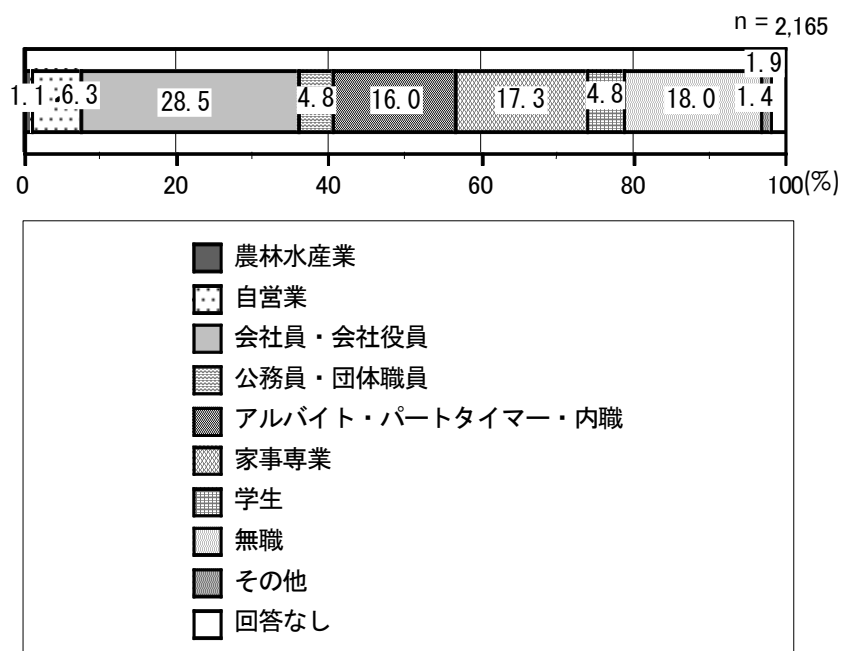
図表1-1-2 「年齢」



(3) 職業

○「会社員・会社役員」が最も多く 28.5%、次いで「無職」、「家事専業」、「アルバイト・パートタイマー・内職」がそれぞれ 15%を超えています。

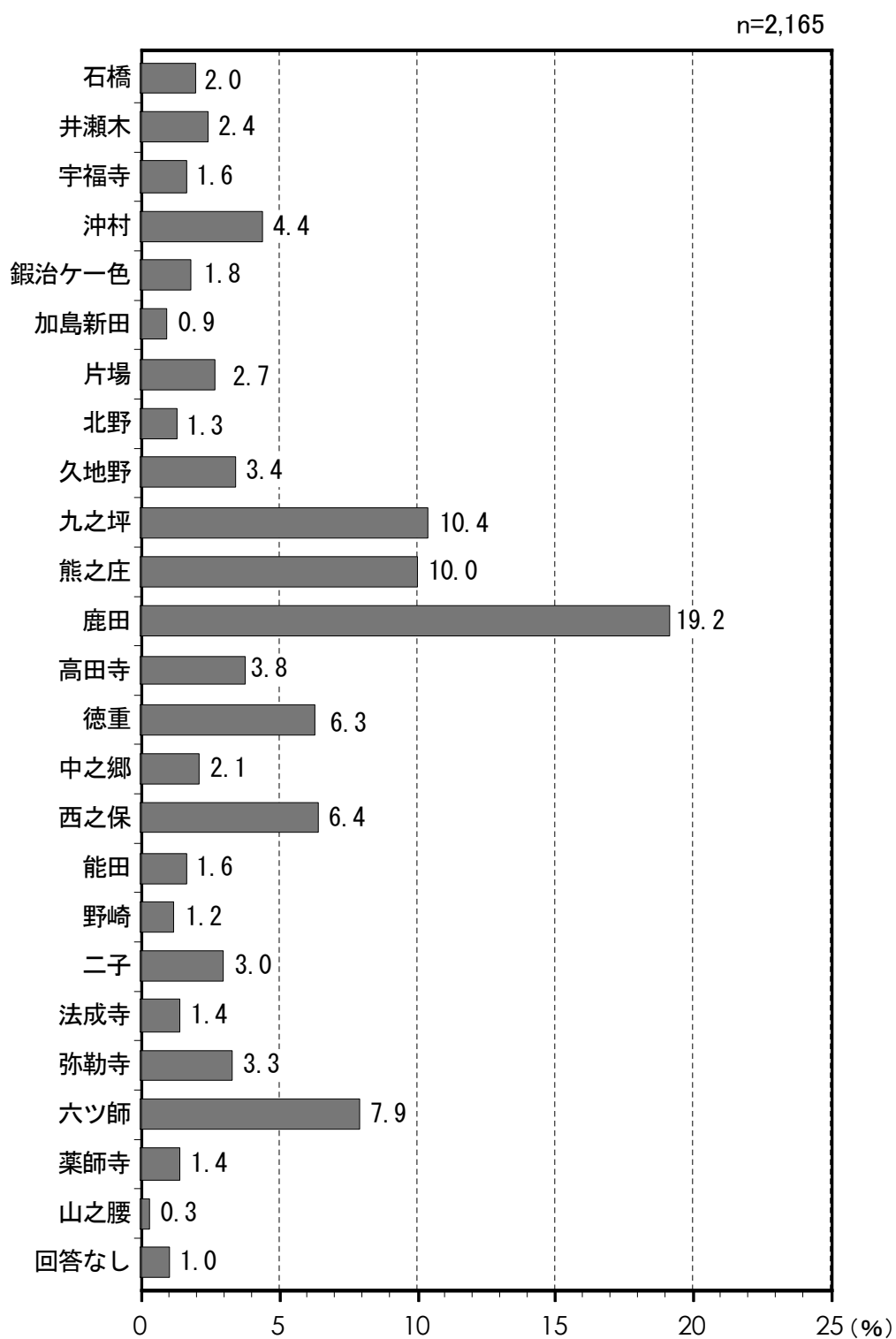
図表 1－1－3 「職業」



(4) 居住地

○「鹿田」が19.2%で最も多く、次いで「九之坪」が10.4%、「熊之庄」が10.0%となっています。

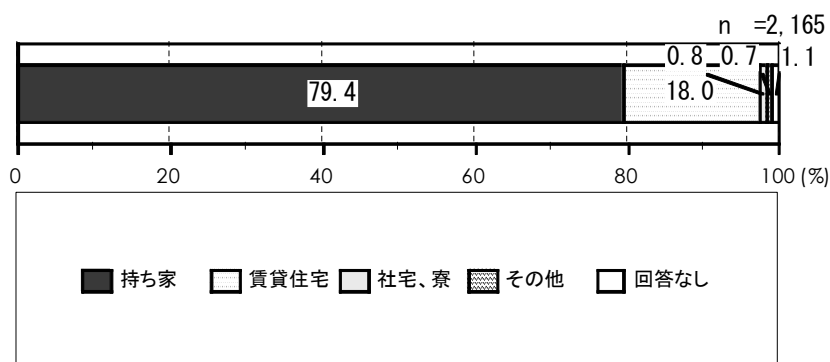
図表 1－1－4 「居住地」



（５）住居の種類

○「持ち家」が79.4%、「賃貸住宅」が18.0%となっています。

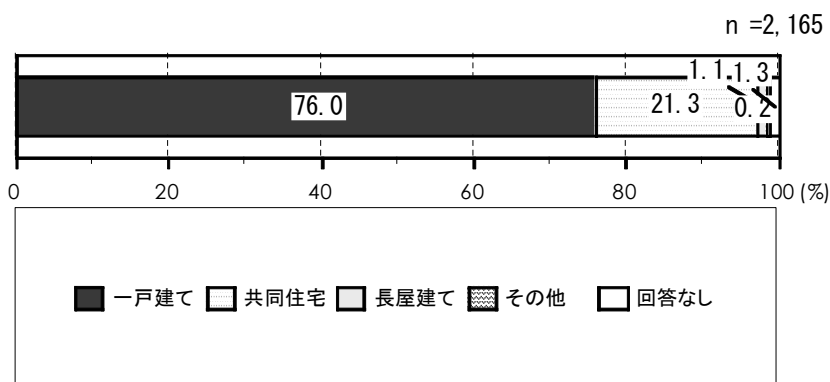
図表１－１－５ 「住居の種類」



（６）住宅の建て方

○「一戸建て」が76.0%、「共同住宅」が21.3%となっています。

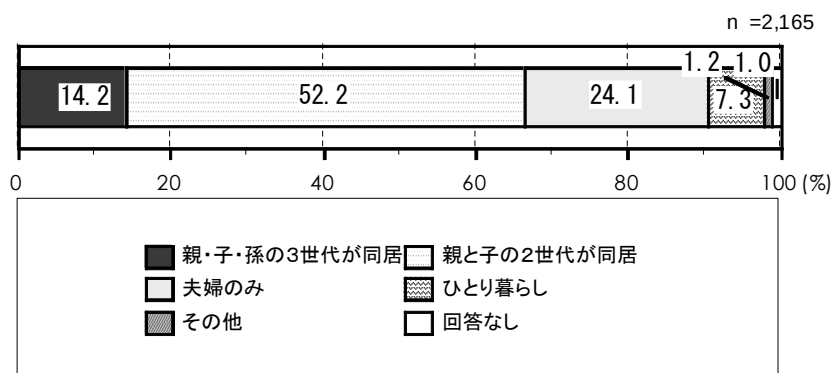
図表１－１－６ 「住宅の建て方」



(7) 世帯構成

- 「親と子の2世代が同居」が 52.2%、「夫婦のみ」が 24.1%、「親・子・孫の3世代が同居」が 14.2%で、合わせて 90%以上の方が家族で暮らしています。
- 「ひとり暮らし」が 7.3%みられます。

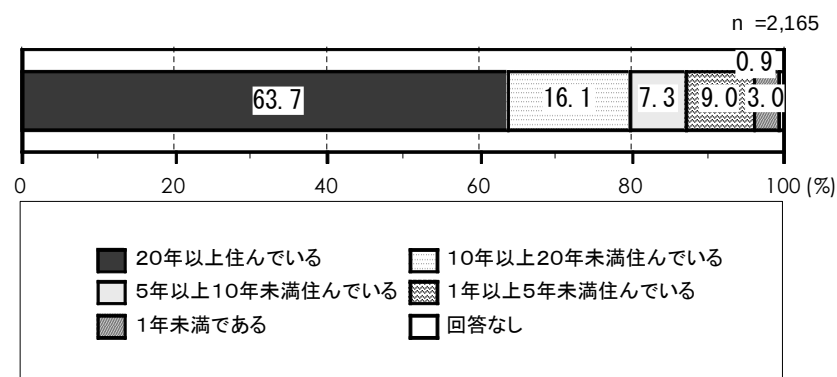
図表 1－1－7 「世帯構成」



(8) 北名古屋市での居住歴

- 「20年以上住んでいる」が 63.7%となっています。
- 「10年以上20年未満住んでいる」が 16.1%で、『10年未満』（「5年以上10年未満住んでいる」＋「1年以上5年未満住んでいる」＋「1年未満である」）は 19.3%となっています。

図表 1－1－8 「北名古屋市での居住歴」



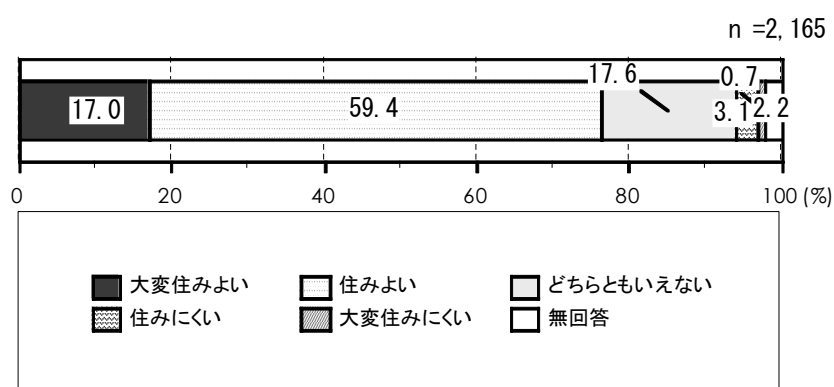
2. 住み心地や今後の居住について

(1) 住み心地

問2 北名古屋市は住みよい都市であると感じていますか。(1つ○印をつけてください。)

- 「大変住みよい」が 17.0%、「住みよい」が 59.4%で、合わせて『住みよい』が 76.4% となっています。
- 「どちらともいえない」が 17.6%で、『住みにくい』（「住みにくい」＋「大変住みにくい」）はわずかに 4%弱です。

図表 1－2－1 「住み心地」



(2) 北名古屋市の特徴

問3 現在の北名古屋市をどのような都市だと感じていますか。(4つまで○印をつけてください。)

①回答者全体

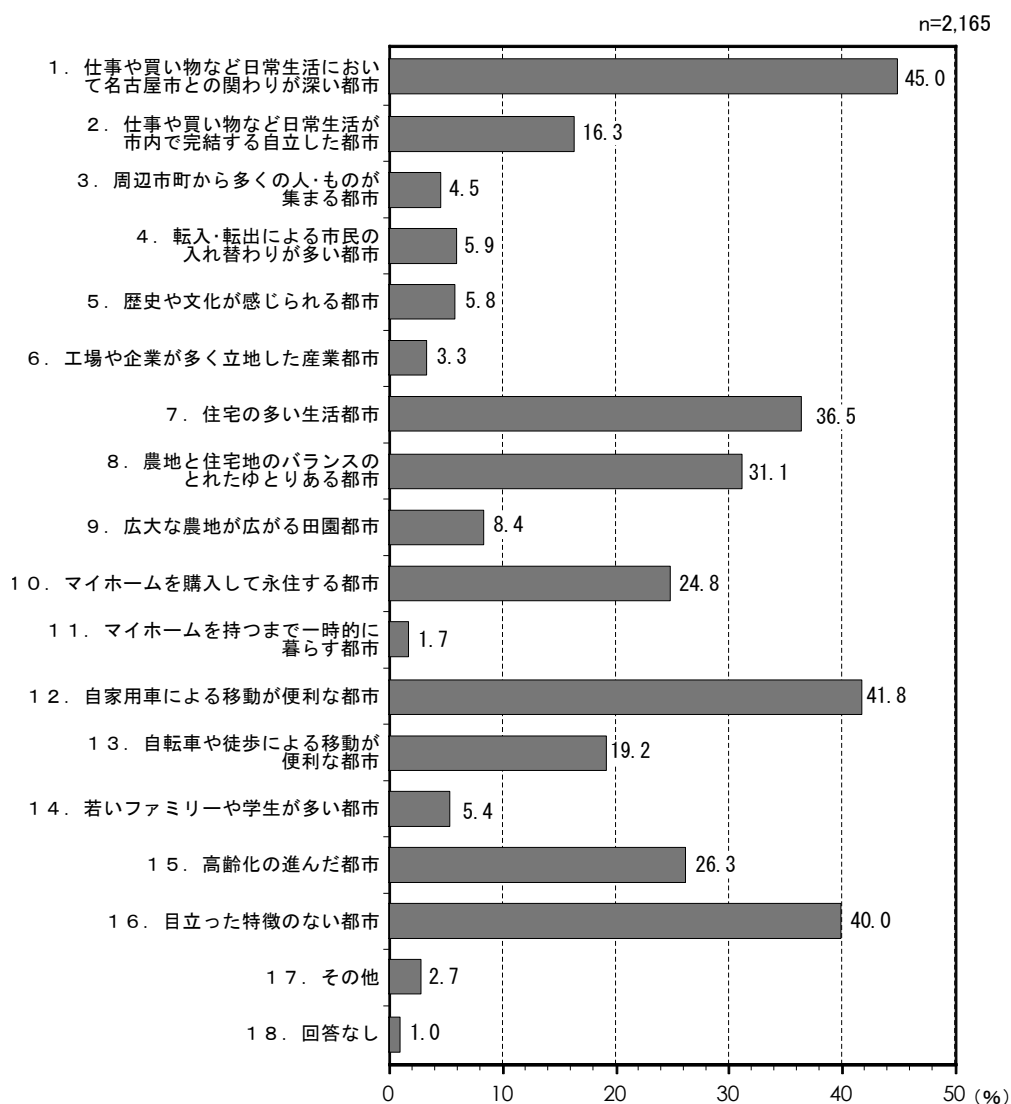
○「仕事や買い物など日常生活において名古屋市との関わりが深い都市」が 45.0%、「自家用車による移動が便利な都市」が 41.8%となっており、生活や交通の利便性が評価されています。

○次いで割合が高い項目は、次のとおりです。

- ・「住宅の多い生活都市」(36.5%)
- ・「農地と住宅地のバランスのとれたゆとりある都市」(31.1%)
- ・「高齢化の進んだ都市」(26.3%)
- ・「マイホームを購入して永住する都市」(24.8%)

○一方、「目立った特徴のない都市」が 40.0%みられます。

図表 1－2－2 「北名古屋市の特徴」



②平成 19 年調査との比較

○平成 19 年調査と比較すると、本調査では「農地と住宅地のバランスのとれたゆとりある都市」、「仕事や買い物など日常生活が市内で完結する自立した都市」、「高齢化の進んだ都市」の割合がやや高くなりました。

○一方、「目立った特徴のない都市」などが本調査では低くなりました。

図表 1－2－3 平成 19 年調査との比較「北名古屋市の特徴」

	本調査 (%)	H19 年 調査 (%)	H19 年 との差 (ポイント)
1. 仕事や買い物など日常生活において名古屋市との関わりが深い都市	45.0	47.7	-2.7
2. 仕事や買い物など日常生活が市内で完結する自立した都市	16.3	13.3	3.0
3. 周辺市町から多くの人・ものが集まる都市	4.5	4.3	0.2
4. 転入・転出による市民の入れ替わりが多い都市	5.9	8.9	-3.0
5. 歴史や文化が感じられる都市	5.8	6.7	-0.9
6. 工場や企業が多く立地した産業都市	3.3	3.6	-0.3
7. 住宅の多い生活都市	36.5	38.7	-2.2
8. 農地と住宅地のバランスのとれたゆとりある都市	31.1	26.5	4.6
9. 広大な農地が広がる田園都市	8.4	9.5	-1.1
10. マイホームを購入して永住する都市	24.8	24.6	0.2
11. マイホームを持つまで一時的に暮らす都市	1.7	2.6	-0.9
12. 自家用車による移動が便利な都市	41.8	44.3	-2.5
13. 自転車や徒歩による移動が便利な都市	19.2	21.6	-2.4
14. 若いファミリーや学生が多い都市	5.4	4.8	0.6
15. 高齢化の進んだ都市	26.3	23.3	3.0
16. 目立った特徴のない都市	40.0	44.5	-4.5
17. その他	2.7	5.7	-3.0
18. 回答なし	1.0	0.7	0.3

(3) 北名古屋市の良い点や魅力

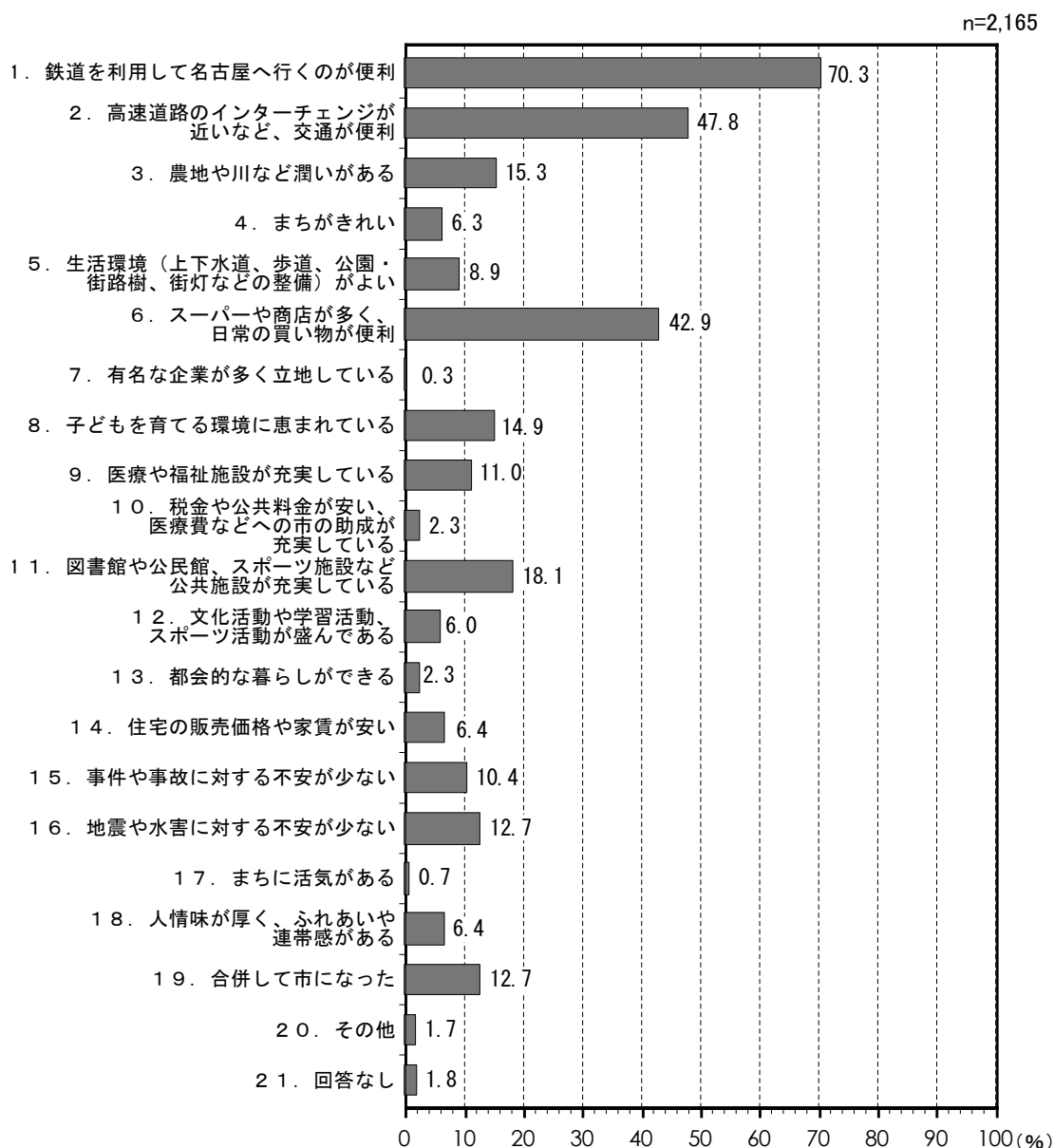
問4 北名古屋市に暮らしてよかったと感じたり魅力的であると感じることはどのようなことですか。(4つまで○印をつけてください。)

①回答者全体

○「鉄道を利用して名古屋へ行くのが便利」が70.3%と特に高くなっており、「高速道路のインターチェンジが近いなど、交通が便利」が47.8%、「スーパーや商店が多く、日常の買い物が便利」が42.9%となっています。交通と買い物の利便性の3項目に回答が集まっています。

○さらに、「図書館や公民館、スポーツ施設など公共施設が充実している」(18.1%)と、「農地や川など潤いがある」(15.3%)、「子どもを育てる環境に恵まれている」(14.9%)という公共施設、自然環境、子育て環境についても評価されています。

図表1-2-4 「北名古屋市の良い点や魅力」



②平成 19 年調査との比較

- 平成 19 年調査と比較すると、本調査では「農地や川など潤いがある」、「地震や水害に対する不安が少ない」の割合がやや高くなりました。
- 一方、「高速道路のインターチェンジが近いなど、交通が便利」、「図書館や公民館、スポーツ施設など公共施設が充実している」などが低くなりました。

図表 1－2－5 平成 19 年調査との比較「北名古屋市の良い点や魅力」

	本調査 (%)	H19 年 調査 (%)	H19 年 との差 (ポイント)
1.鉄道を利用して名古屋へ行くのが便利	70.3	69.3	1.0
2.高速道路のインターチェンジが近いなど、交通が便利	47.8	58.2	-10.4
3.農地や川など潤いがある	15.3	10.1	5.2
4.まちがきれい	6.3	3.7	2.6
5.生活環境(上下水道、歩道、公園・街路樹、街灯などの整備)がよい	8.9	6.0	2.9
6.スーパーや商店が多く、日常の買い物が便利	42.9	40.3	2.6
7.有名な企業が多く立地している	0.3	0.6	-0.3
8.子どもを育てる環境に恵まれている	14.9	18.1	-3.2
9.医療や福祉施設が充実している	11.0	11.3	-0.3
10.税金や公共料金が安い、医療費などへの市の助成が充実している	2.3	1.6	0.7
11.図書館や公民館、スポーツ施設など公共施設が充実している	18.1	23.2	-5.1
12.文化活動や学習活動、スポーツ活動が盛んである	6.0	6.5	-0.5
13.都会的な暮らしができる	2.3	2.3	0.0
14.住宅の販売価格や家賃が安い	6.4	5.6	0.8
15.事件や事故に対する不安が少ない	10.4	11.8	-1.4
16.地震や水害に対する不安が少ない	12.7	8.2	4.5
17.まちに活気がある	0.7	0.9	-0.2
18.人情味が厚く、ふれあいや連帯感がある	6.4	7.9	-1.5
19.合併して市になった	12.7	14.5	-1.8
20.その他	1.7	3.6	-1.9
21.回答なし	1.8	1.5	0.3

(4) 居留意向

問 5 将来も北名古屋市に住み続けたいと思いますか。(1つ〇印をつけてください。)

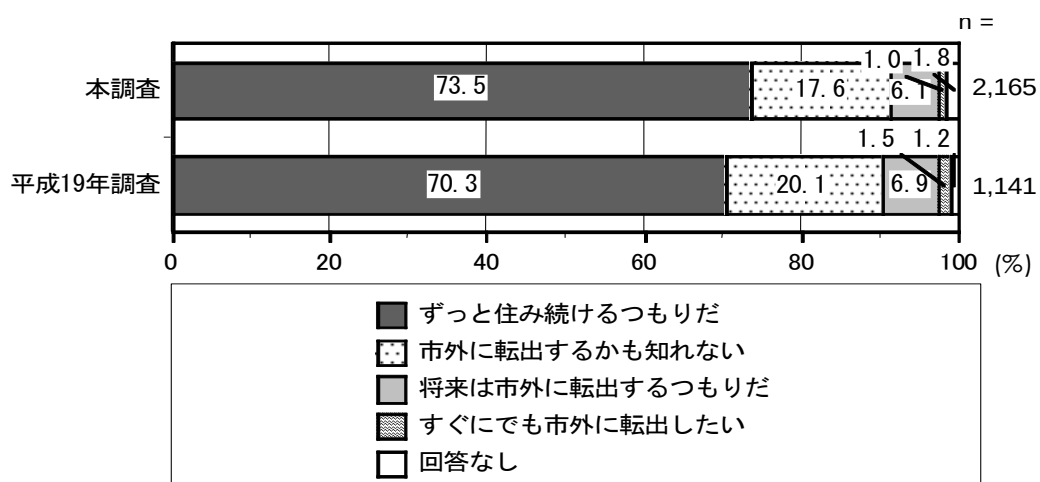
①回答者全体

- 「ずっと住み続けるつもりだ」が 73.5%となっています。
- 「市外に転出するかも知れない」が 17.6%で、「将来は市外に転出するつもりだ」、「すぐにでも市外に転出したい」も合わせた『転出意向がある』のは 24.7%です。

②平成 19 年調査との比較

- 本調査では平成 19 年調査に比べて「ずっと住み続けるつもりだ」が 3 ポイント以上高く、定住意向がやや高くなっています。

図表 1-2-6 平成 19 年調査との比較「居留意向」



(5) 転出する可能性がある理由

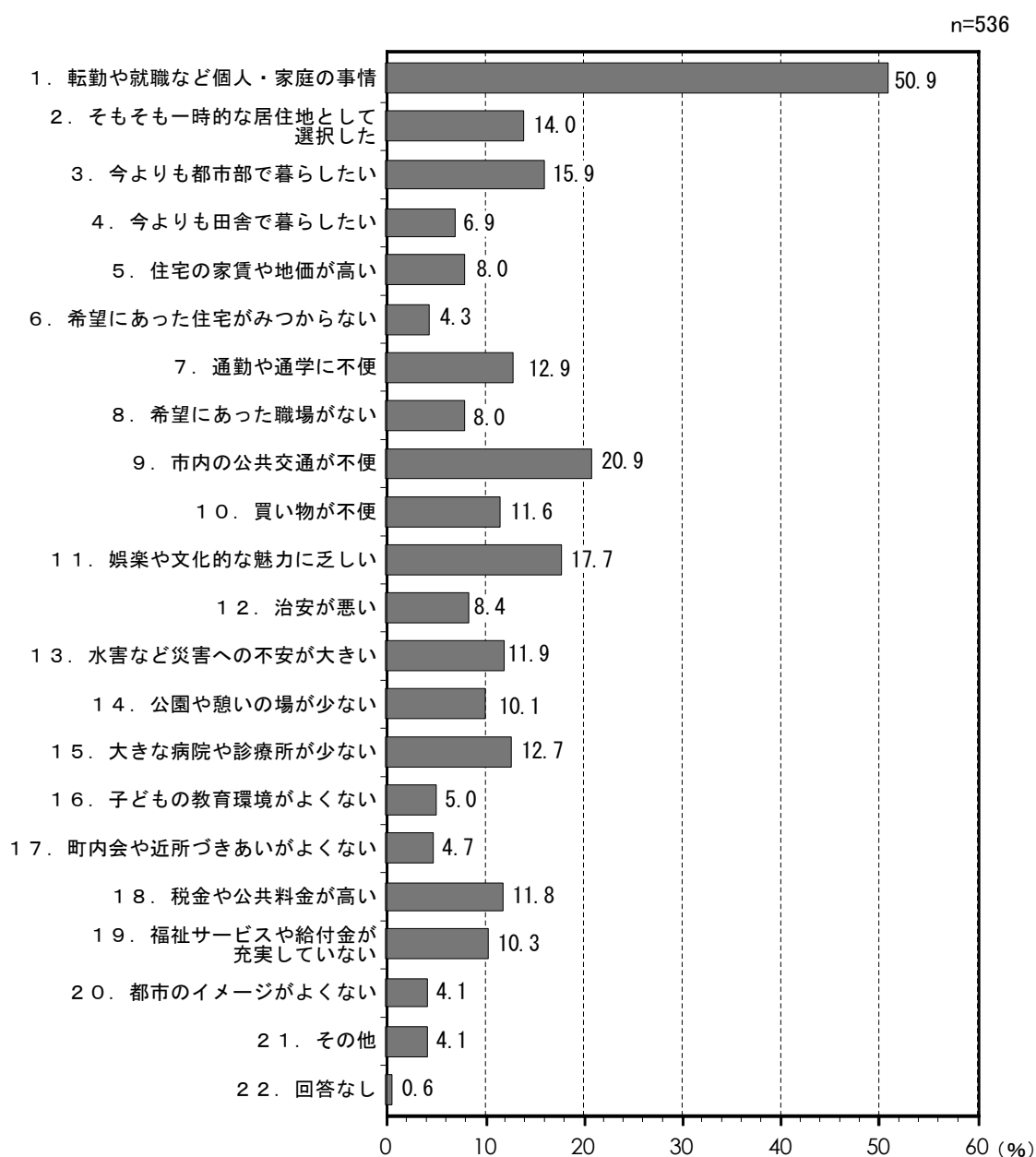
問 6 問 5 で「2. 市外に転出するかも知れない」「3. 将来は市外に転出するつもりだ」「4. すぐにでも市外に転出したい」と回答された方にうかがいます。

あなたが北名古屋市から転出する可能性のある理由は何ですか。(5つまで○印をつけてください。)

○前問で『転出意向がある』と回答した 536 人では、「転勤や就職など個人・家庭の事情」(50.9%) が概ね半数となっています。

○環境面などの理由では、「市内の公共交通が不便」(20.9%) が最も高く、次いで「娯楽や文化的な魅力に乏しい」(17.7%)、「今よりも都市部で暮らしたい」(15.9%) などに回答が分かれています。

図表 1－2－7 「転出する可能性がある理由」



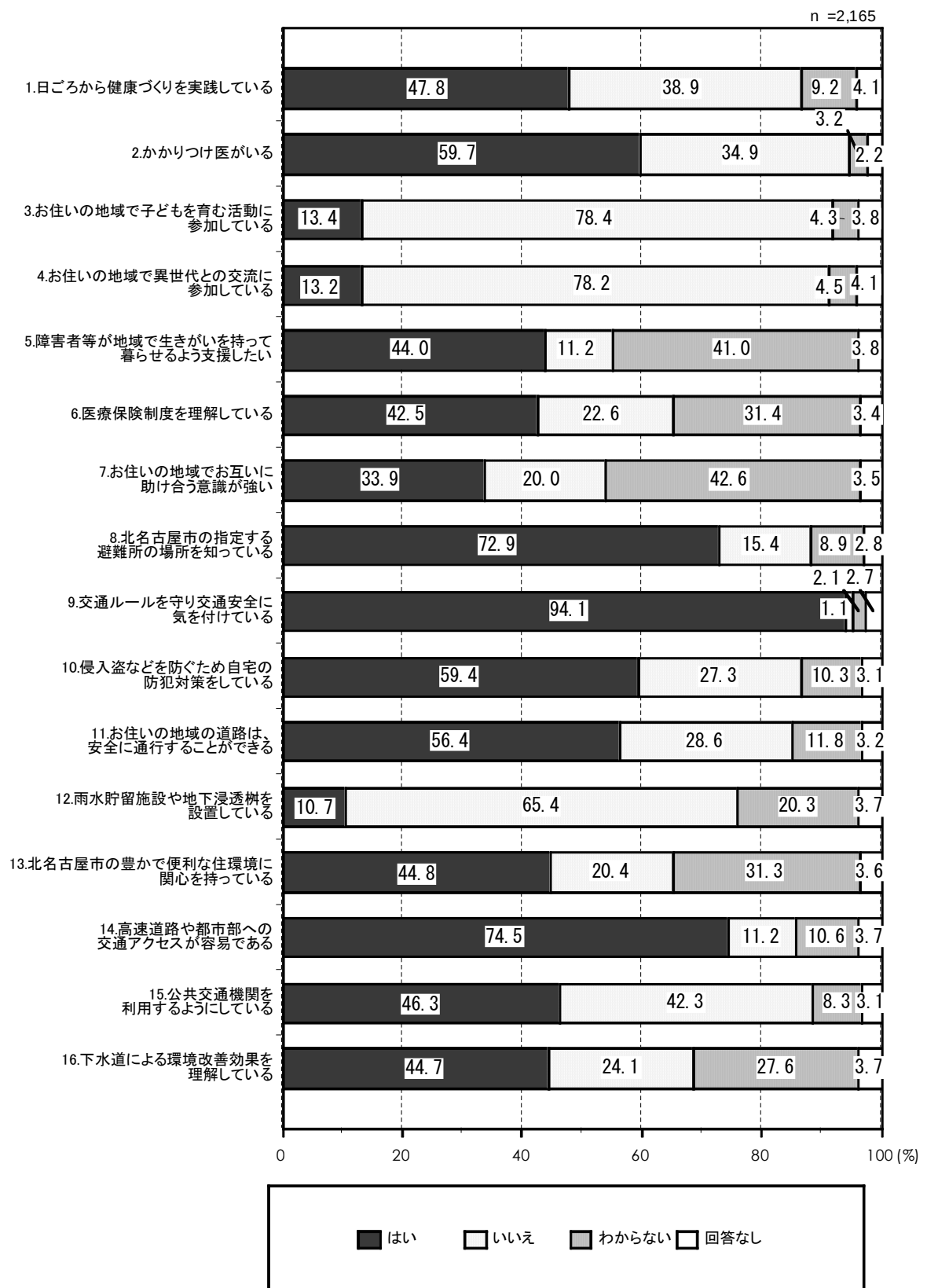
3. 日常生活に関する意識について

日常生活の現状や活動状況

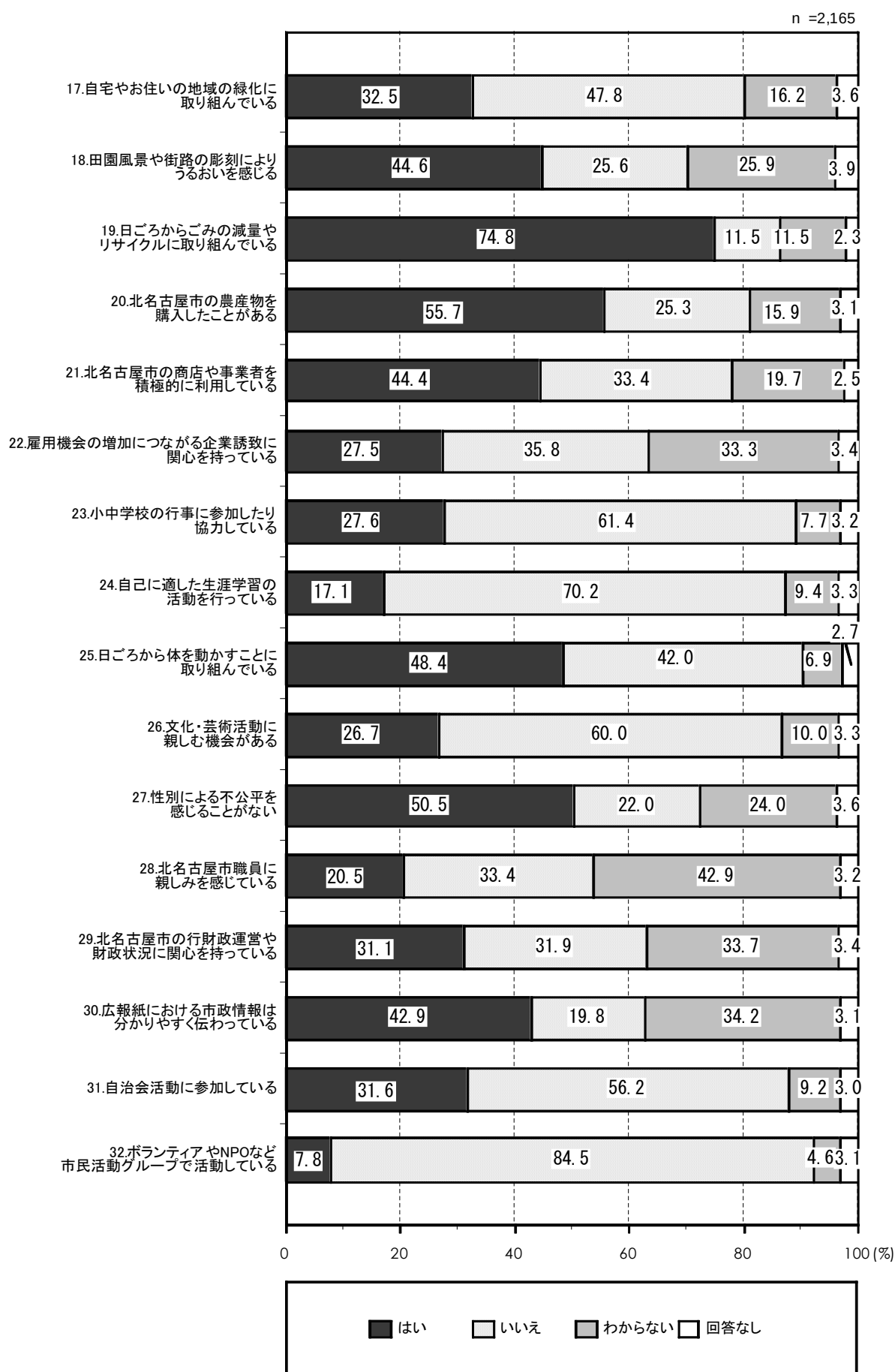
問7 次の項目について、あなたの日常生活の現状や活動にあてはまるものを、「はい」「いいえ」「わからない」から1つを選んで○印をつけてください。

- 「はい」という回答の割合を比較すると、活動については「9. 交通ルールを守り交通安全に気を付けている」が94.1%と大半の人が取り組んでおり、「19. 日ごろからごみの減量やリサイクルに取り組んでいる」(74.8%)、「8. 北名古屋市の指定する避難所の場所を知っている」(72.9%)が特に高くなっています。
- このほか、活動について「はい」が50%を超えるのは、次の項目です。
- ・「2. かかりつけ医がいる」(59.7%)
 - ・「10. 侵入盗などを防ぐため自宅の防犯対策をしている」(59.4%)
 - ・「20. 北名古屋市の農産物を購入したことがある」(55.7%)
- 現状については、「14. 高速道路や都市部への交通アクセスが容易である」が74.5%と最も高く、次いで「11. お住いの地域の道路は、安全に通行することができる」(56.4%)、「27. 性別による不公平を感じることはない」(50.5%)が高くなっています。
- 一方、「はい」が低い項目は、活動についてみられ、「32. ボランティアやNPOなど市民活動グループで活動している」(7.8%)と「12. 雨水貯留施設や地下浸透枳を設置している」(10.7%)が、特に低くなっています。
- このほか、20%に達しない項目は、多世代交流や子育て支援、生涯学習等への参加となっています。
- ・「4. お住いの地域で異世代との交流に参加している」(13.2%)
 - ・「3. お住いの地域で子どもを育む活動に参加している」(13.4%)
 - ・「24. 自己に適した生涯学習の活動を行っている」(17.1%)

図表 1－3－1 「日常生活の現状や活動状況」（その１）



図表 1－3－2 「日常生活の現状や活動状況」（その2）



4. 地域活動について

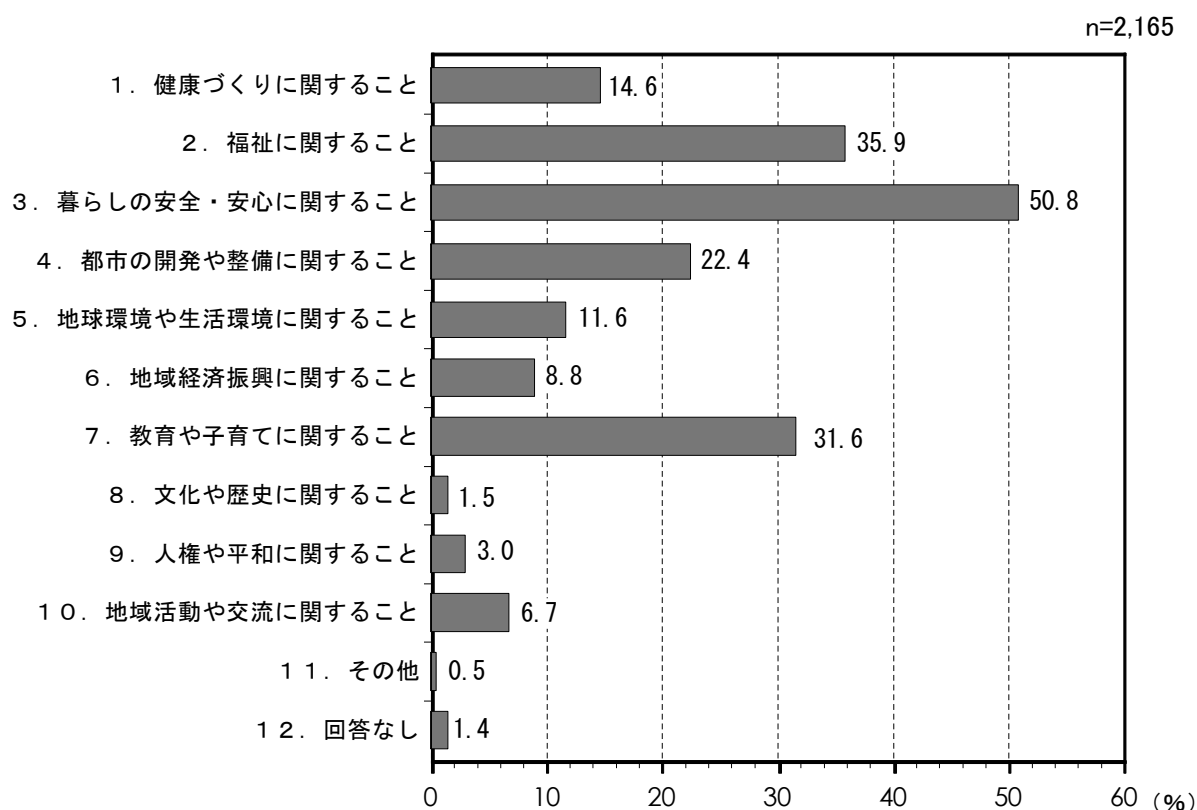
地域活動の状況

問 8 市民と行政が地域社会の課題をいっしょに考え、解決することが求められています。市民と行政が協働で取り組むことが必要、または取り組むと有効であると考えられるのはどの分野だと思いますか。（2つまで○印をつけてください。）

○「暮らしの安全・安心に関すること」が 50.8%と最も高く、次いで「福祉に関すること」が 35.9%、「教育や子育てに関すること」が 31.6%となっており、将来にわたって安心して暮らすことや子育て等が求められています。

○このほか、「都市の開発や整備に関すること」（22.4%）、「健康づくりに関すること」（14.6%）、「地球環境や生活環境に関すること」（11.6%）などに回答が分かれています。

図表 1－4－1 「地域活動の状況」



5. 北名古屋市の現状の評価について

項目別の重要度と満足度

問 10 次の項目について、あなたの考え方にあてはまるものを、「満足度について」「重要度について」のそれぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。

①重要度

○重要度（「重要である」＋「やや重要である」）では、「21. お住いの地域は買い物に便利である」（84.4%）が最も高く、次いで「12. お住まいの地域では大雨による水害の心配が少ない」（80.8%）、「11. お住まいの地域の道路は歩行者や自転車が安全に通行できる」（79.4%）、「2. 北名古屋市は病院や診療所が充実している」（79.1%）が並んでいます。買い物の利便性や水害対策、歩行者や自転車の通行の安全性、病院等の充実が重視されています。

○このほか重要度が上位 10 までに入る項目は、次のとおりです。

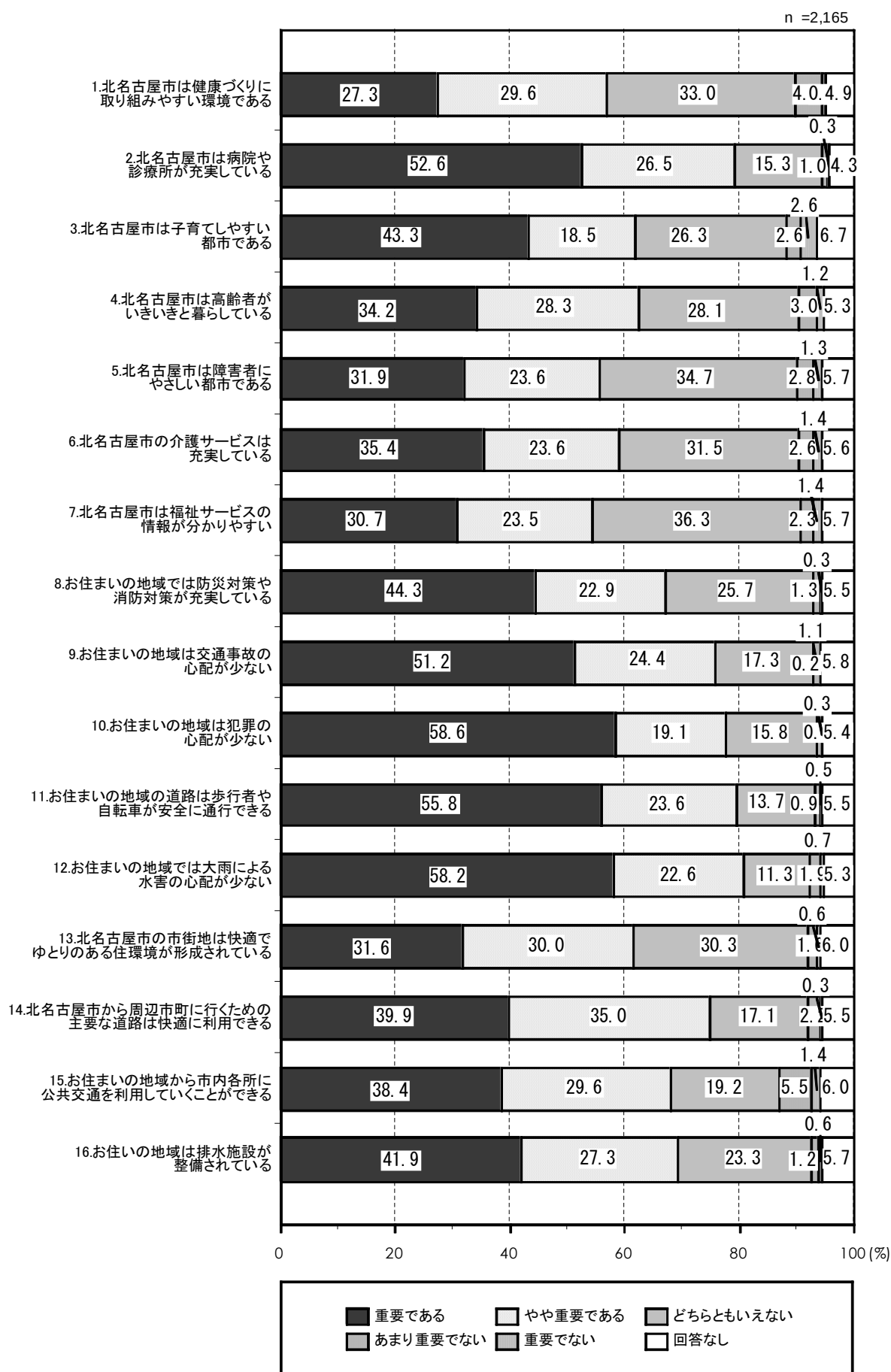
- ・「10. お住まいの地域は犯罪の心配が少ない」（77.7%）
- ・「9. お住まいの地域は交通事故の心配が少ない」（75.6%）
- ・「14. 北名古屋市から周辺市町に行くための主要な道路は快適に利用できる」（74.9%）
- ・「17. 市内に心安らぐ公園や緑地がある」（71.3%）
- ・「16. お住いの地域は排水施設が整備されている」（69.2%）
- ・「15. お住まいの地域から市内各所に公共交通を利用していくことができる」（68.0%）

○重要度が低いものとして、「22. 北名古屋市では工場立地が進んでいる」（21.8%）、「20. 北名古屋市では農業にふれあう機会が提供されている」（28.7%）、「32. 北名古屋市はボランティアやNPOの活動が盛んである」（29.1%）となっています。

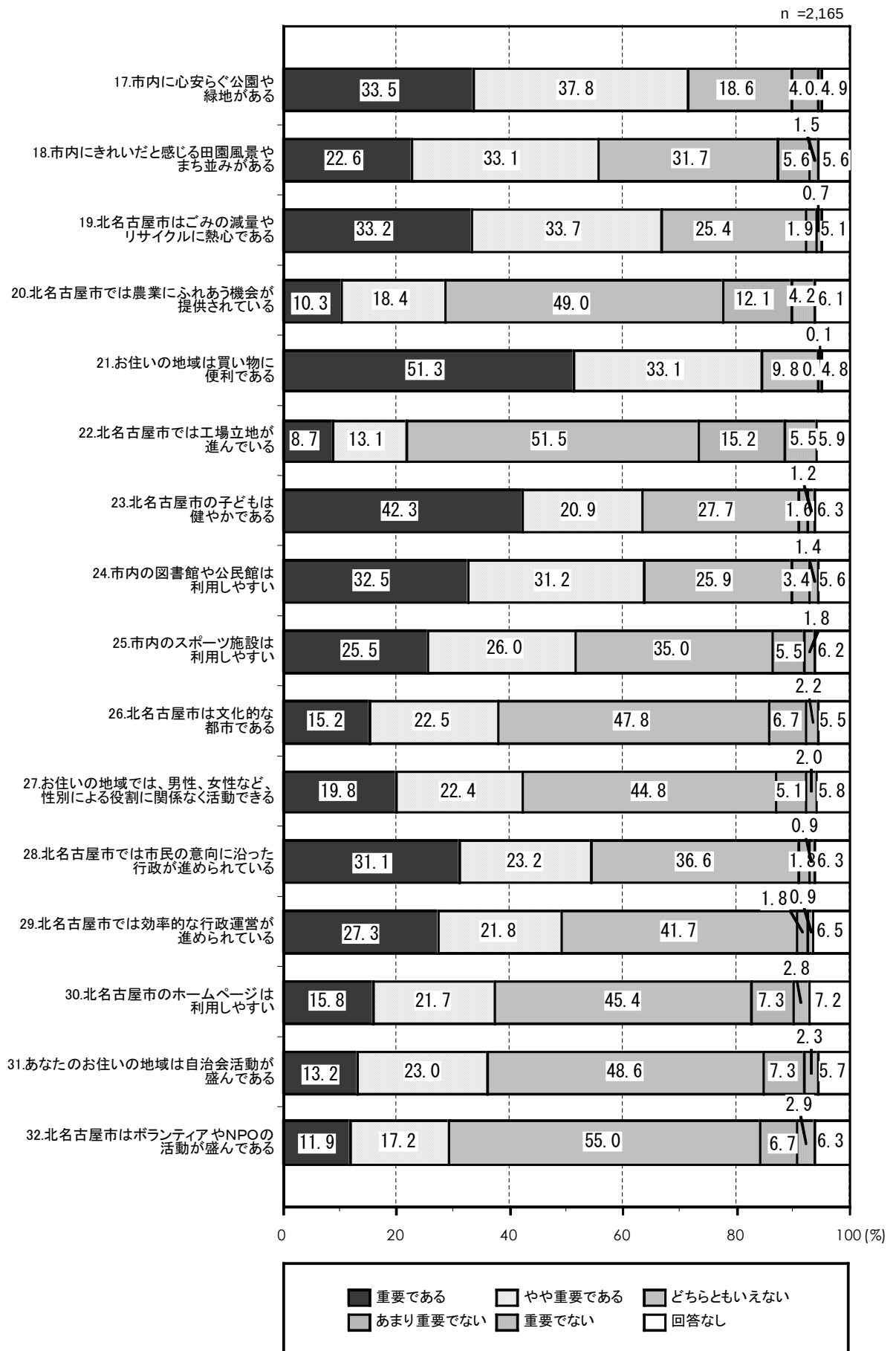
○このほか、40%未満と低い項目は、次のとおりです。

- ・「31. あなたのお住いの地域は自治会活動が盛んである」（36.2%）
- ・「30. 北名古屋市のホームページは利用しやすい」（37.5%）
- ・「26. 北名古屋市は文化的な都市である」（37.7%）

図表 1-5-1 「重要度」(その1)



図表 1－5－2 「重要度」(その2)



②満足度

○満足度（「満足している」＋「やや満足している」）の割合が高い項目は、「21. お住まいの地域は買い物に便利である」が 66.7%と最も高く、次いで「14. 北名古屋市から周辺市町に行くための主要な道路は快適に利用できる」が 55.9%、「2. 北名古屋市は病院や診療所が充実している」が 50.3% となっています。買い物、道路アクセスや通院の利便性が高く評価されています。

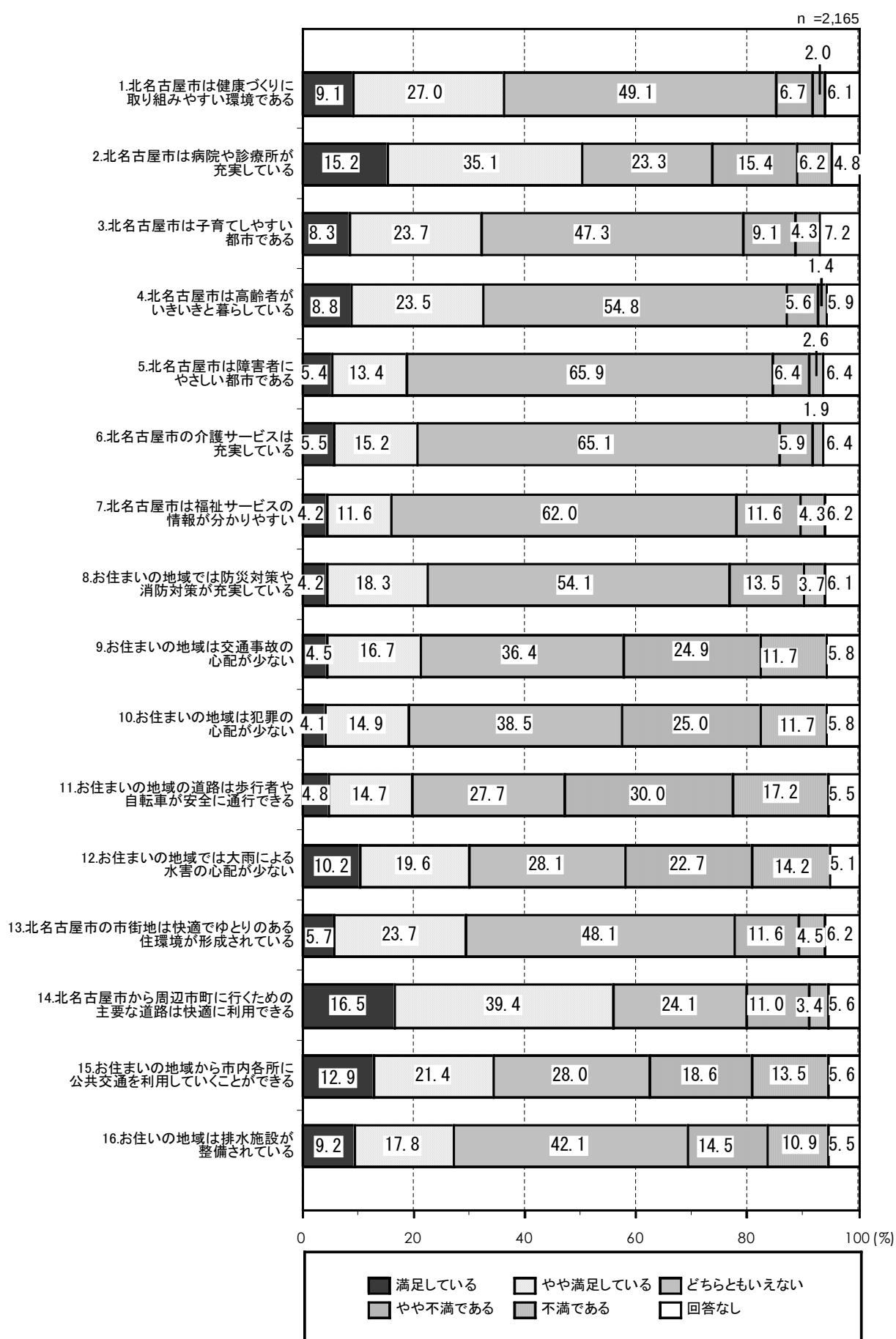
○このほか満足度が上位 10 までに入る項目は、次のとおりです。

- ・「24. 市内の図書館や公民館は利用しやすい」(46.0%)
- ・「19. 北名古屋市はごみの減量やリサイクルに熱心である」(45.3%)
- ・「1. 北名古屋市は健康づくりに取り組みやすい環境である」(36.1%)
- ・「23. 北名古屋市の子どもは健やかである」(35.8%)
- ・「15. お住まいの地域から市内各所に公共交通を利用していくことができる」(34.3%)
- ・「18. 市内にきれいだと感じる田園風景やまち並みがある」(33.4%)
- ・「4. 北名古屋市は高齢者がいきいきと暮らしている」(32.3%)

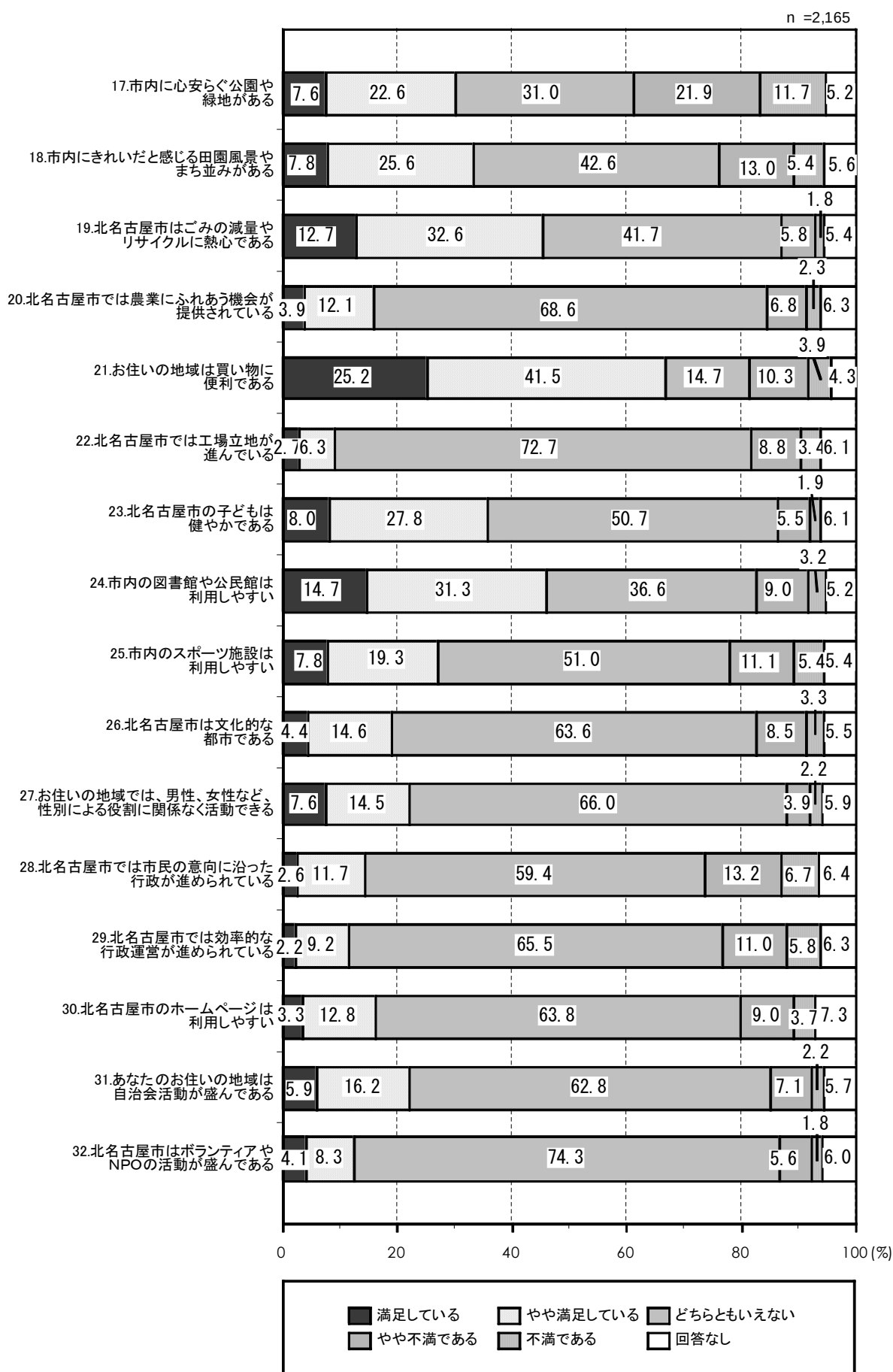
○満足度が低いのは、次のとおりです。

- ・「22. 北名古屋市では工場立地が進んでいる」(9.0%)
- ・「29. 北名古屋市では効率的な行政運営が進められている」(11.4%)
- ・「32. 北名古屋市はボランティアやNPOの活動が盛んである」(12.4%)
- ・「28. 北名古屋市では市民の意向に沿った行政が進められている」(14.3%)
- ・「7. 北名古屋市は福祉サービスの情報が分かりやすい」(15.8%)
- ・「20. 北名古屋市では農業にふれあう機会が提供されている」(16.0%)
- ・「30. 北名古屋市のホームページは利用しやすい」(16.1%)
- ・「5. 北名古屋市は障害者にやさしい都市である」(18.8%)
- ・「26. 北名古屋市は文化的な都市である」(19.0%)
- ・「10. お住まいの地域は犯罪の心配が少ない」(19.0%)

図表 1-5-3 「満足度」(その1)



図表 1-5-4 「満足度」(その2)



③重要度と満足度の比較

○重要度と満足度を分布から、「重要度が高く、満足度が低い」という今後重点的に改善すべき項目の候補と言えるのは、防災・防犯と交通安全にかかわる項目が多くなっています。

○重要度の平均点は 0.90 点、満足度の平均点は 0.13 点となっています。

「1. 重要である」「1. 満足している」⇒+2 点

「2. やや重要である」「2. やや満足している」⇒+1 点

「3. あまり重要でない」「3. やや不満である」⇒-1 点

「4. 重要でない」「4. 不満である」⇒-2 点

各回答に対して上記の点数を付与し、「回答なし」を除く回答者数を母数とした平均値を評点とする。

図表 1－5－5 「重要度と満足度の比較」

		重要度評点	満足度評点
重要度高・満足度低	12. お住まいの地域では大雨による水害の心配が少ない	1.43	-0.12
	10. お住まいの地域は犯罪の心配が少ない	1.42	-0.27
	11. お住まいの地域の道路は歩行者や自転車が安全に通行できる	1.41	-0.42
	9. お住まいの地域は交通事故の心配が少ない	1.33	-0.24
	8. お住まいの地域では防災対策や消防対策が充実している	1.16	0.06
	16. お住いの地域は排水施設が整備されている	1.15	0.00
	17. 市内に心安らぐ公園や緑地がある	1.04	-0.08
	15. お住まいの地域から市内各所に公共交通を利用していくことができる	1.04	0.02
重要度高・満足度高	21. お住いの地域は買い物に便利である	1.41	0.77
	2. 北名古屋市は病院や診療所が充実している	1.36	0.40
	14. 北名古屋市から周辺市町に行くための主要な道路は快適に利用できる	1.19	0.58
	23. 北名古屋市の子どもは健やかである	1.08	0.37
	3. 北名古屋市は子育てしやすい都市である	1.04	0.24
	19. 北名古屋市はごみの減量やリサイクルに熱心である	1.02	0.51
	13. 北名古屋市の市街地は快適でゆとりのある住環境が形成されている	0.96	0.15
	4. 北名古屋市は高齢者がいきいきと暮らしている	0.96	0.35
重要度低・満足度低	24. 市内の図書館や公民館は利用しやすい	0.95	0.48
	6. 北名古屋市の介護サービスは充実している	0.94	0.17
	28. 北名古屋市では市民の意向に沿った行政が進められている	0.87	-0.10
	7. 北名古屋市は福祉サービスの情報が分かりやすい	0.85	0.00
	29. 北名古屋市では効率的な行政運営が進められている	0.78	-0.10
	30. 北名古屋市のホームページは利用しやすい	0.44	0.03
	26. 北名古屋市は文化的な都市である	0.44	0.09
	32. 北名古屋市はボランティアやNPOの活動が盛んである	0.30	0.08
重要度低・満足度高	20. 北名古屋市では農業にふれあう機会が提供されている	0.20	0.09
	22. 北名古屋市では工場立地が進んでいる	0.05	-0.04
	5. 北名古屋市は障害者にやさしい都市である	0.87	0.13
	1. 北名古屋市は健康づくりに取り組みやすい環境である	0.82	0.37
	18. 市内にきれいだと感じる田園風景やまち並みがある	0.74	0.18
	25. 市内のスポーツ施設は利用しやすい	0.72	0.14
	27. お住いの地域では、男性、女性など、性別による役割に関係なく活動できる	0.56	0.23
	31. あなたのお住いの地域は自治会活動が盛んである	0.40	0.17
平 均		0.90	0.13

6. これからのまちづくりについて

(1) 将来のまちづくりで大切にしたいこと

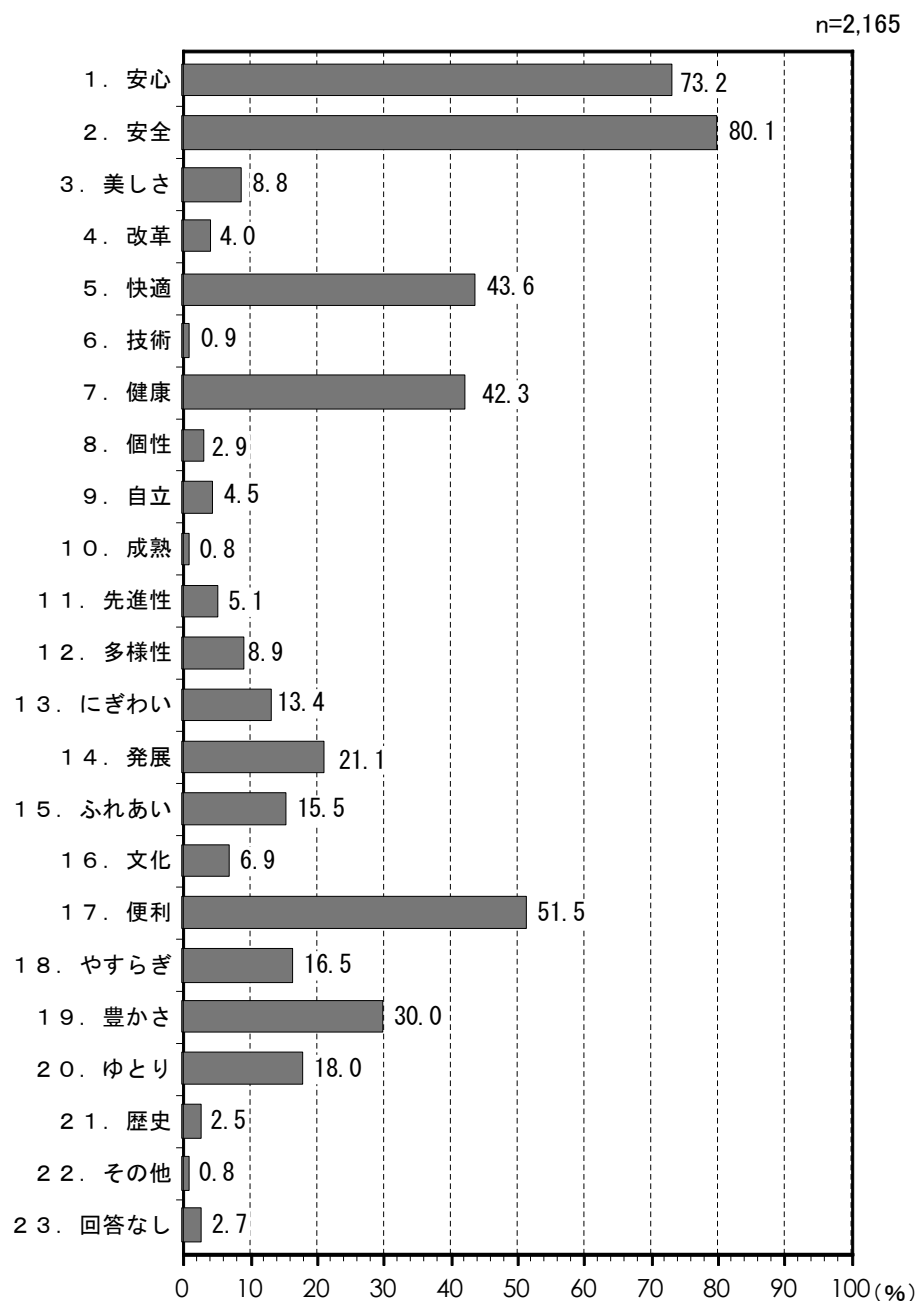
問 11 北名古屋市の将来のまちづくりを考えるうえで大切にしたいことは何であると思いますか。(5つまで○印をつけてください。)

①回答者全体

○「安全」が80.1%、「安心」が73.2%で、この2項目に回答が集まっています。

○このほかでは、「便利」(51.5%)、「快適」(43.6%)、「健康」(42.3%)、「豊かさ」(30.0%)の割合が比較的高くなっており、安全で安心、さらに利便性、快適性などが大切であると考えられています。

図表 1－6－1 「将来のまちづくりで大切にしたいこと」



②平成 19 年調査との比較

○割合が高い上位 10 までに入る項目を平成 19 年調査と比較すると、上位 5 は、「安全」、「安心」、「便利」、「快適」、「健康」と変わっていません。

○本調査においては、平成 19 年調査と比べて「豊かさ」と「発展」の順位が上がったのが特徴です。

図表 1－6－2 平成 19 年調査との比較「将来のまちづくりで大切にしたいこと」

	本調査	(%)	平成 19 年調査	(%)
1 位	安全	80.1	安全	67.2
2 位	安心	73.2	安心	55.6
3 位	便利	51.5	便利	49.9
4 位	快適	43.6	快適	41.4
5 位	健康	42.3	健康	41.2
6 位	豊かさ	30.0	やすらぎ	33.1
7 位	発展	21.1	ふれあい	23.3
8 位	ゆとり	18.0	ゆとり	23.0
9 位	やすらぎ	16.5	豊かさ	21.2
10 位	ふれあい	15.5	発展	18.9

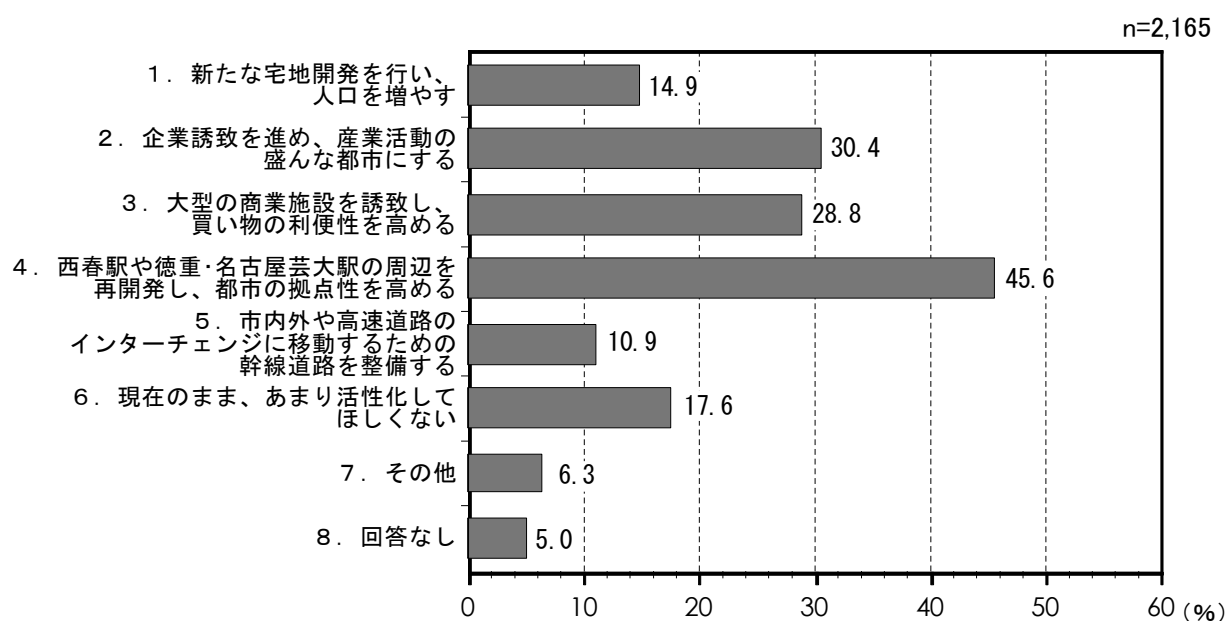
（２）将来のまちの活性化のために重要なこと

問 12 北名古屋市の将来のまちの活性化のために重要なことは何であると思いますか。（２つまで○印をつけてください。）

①回答者全体

○「西春駅や徳重・名古屋芸大駅の周辺を再開発し、都市の拠点性を高める」が 45.6%と最も高く、次いで「企業誘致を進め、産業活動の盛んな都市にする」が 30.4%、「大型の商業施設を誘致し、買い物の利便性を高める」が 28.8%となっています。○一方、「現在のまま、あまり活性化してほしくない」が 17.6%みられます。

図表 1－6－3 「将来のまちの活性化のために重要なこと」



②平成 19 年調査との比較

- 本調査では平成 19 年調査と比べて、「企業誘致を進め、産業活動の盛んな都市にする」が 8.8 ポイント高まっています。
- 一方、「大型の商業施設を誘致し、買い物の利便性を高める」、「現在のまま、あまり活性化してほしくない」などの項目は、本調査の方が低くなりました。

図表 1－6－4 平成 19 年調査との比較
「将来のまちの活性化のために重要なこと」

	本調査 (%)	H19 年 調査 (%)	H19 年 との差 (ポイント)
新たな宅地開発を行い、人口を増やす	14.9	13.4	1.5
企業誘致を進め、産業活動の盛んな都市にする	30.4	21.6	8.8
大型の商業施設を誘致し、買い物の利便性を高める	28.8	34.4	-5.6
西春駅や徳重・名古屋芸大駅の周辺を再開発し、都市の拠点性を高める	45.6	49.2	-3.6
市内外や高速道路のインターチェンジに移動するための幹線道路を整備する	10.9	10.3	0.6
現在のまま、あまり活性化してほしくない	17.6	22.4	-4.8
その他	6.3	9.5	-3.2
回答なし	5.0	2.4	2.6

第2部 合併に関する質問

(1) 名古屋市との合併についての賛否

問4 北名古屋市は名古屋市との合併に向けて検討することになりましたが、名古屋市との合併に関して、現段階でのあなたのご意見をお聞かせください。(1つ〇印をつけてください。)

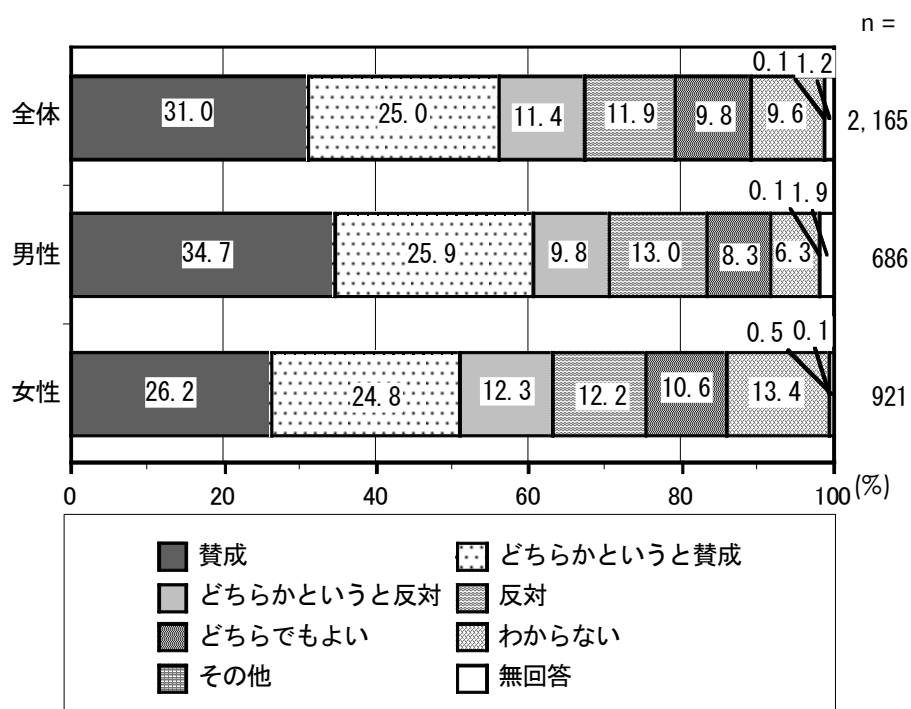
①回答者全体

- 「賛成」が31.0%、「どちらかという賛成」が25.0%で、合わせて『いわゆる賛成』が56.0%となっています。
- 「反対」は11.9%、「どちらかという反対」は11.4%で、合わせて『いわゆる反対』が23.3%となっています。「どちらでもよい」と「わからない」はそれぞれ10%弱です。
- 『いわゆる賛成』と『いわゆる反対』の比率は70.6%対29.4%となっています。

②男女別

- 男性で「賛成」が34.7%と高くなっています。
- 『いわゆる賛成』について男性が60.6%で、女性は51.0%となっています。

図表2-1 男女別「名古屋市との合併についての賛否」

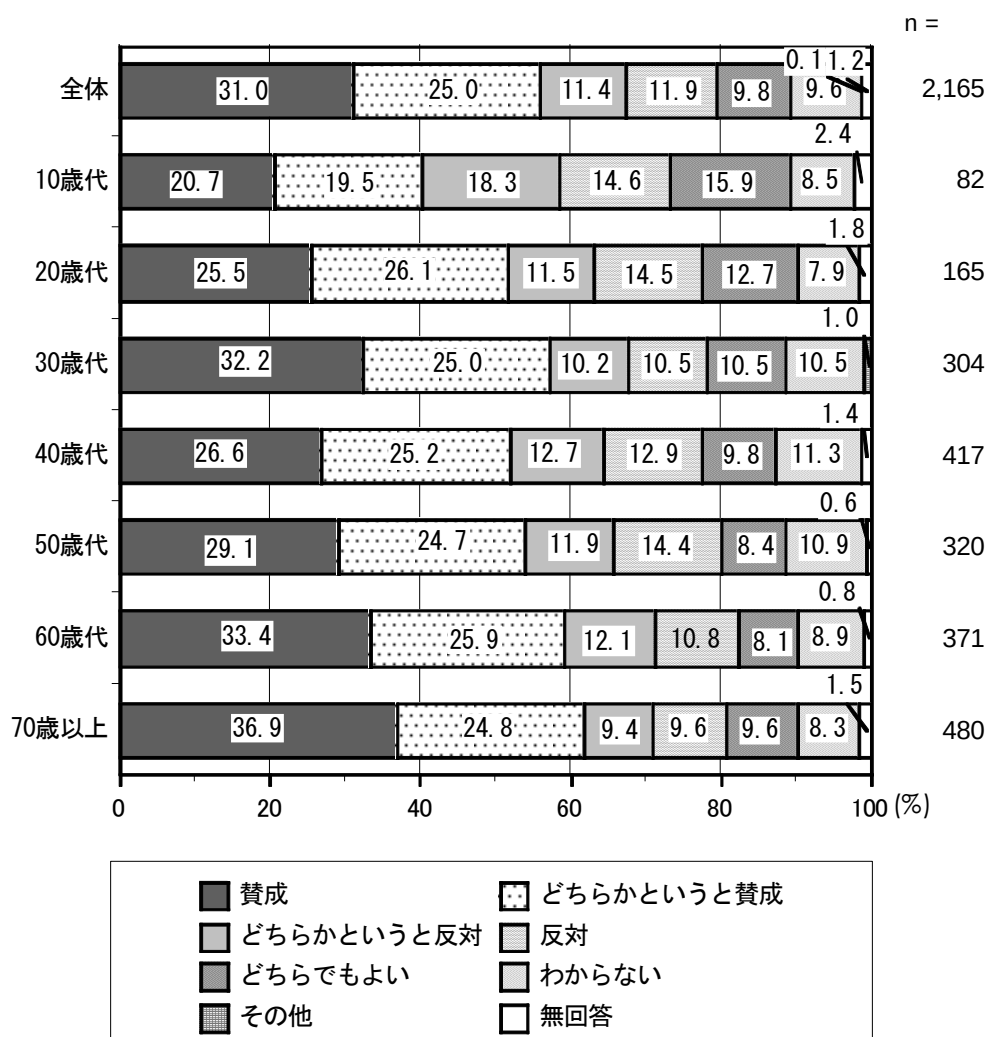


③年代別

○70 歳以上で「賛成」が 36.9%と高く、10 歳代で「どちらかというと反対」(18.3%)と「どちらでもよい」(15.9%) が他の年代よりも高くなっています。

○『いわゆる賛成』は、10 歳代では年代の中で最も低く 40.2%でしたが、30 歳代にかけて高くなっています。40 歳代では『いわゆる賛成』が 20 歳代と同じ程度低くなっていますが、再び 70 歳以上にかけて高くなっています。

図表 2－2 年代別「名古屋市との合併についての賛否」



(2) 名古屋市との合併を検討するにあたり重視すること

問 1 北名古屋市が名古屋市との合併を検討するにあたり、あなたが重視することはどれですか。(いくつでも○印をつけてください。)

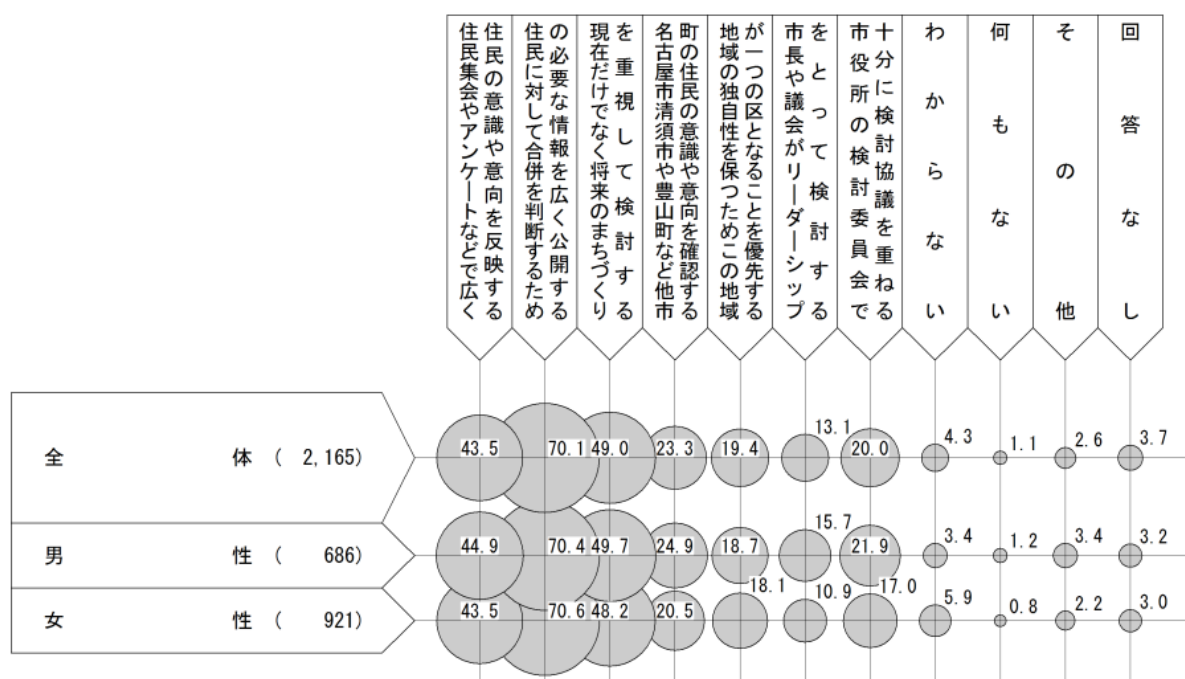
①回答者全体

○「住民に対して、合併を判断するための必要な情報を広く公開する」が70.1%と最も高く、次いで「現在だけでなく、将来のまちづくりを重視して検討する」が49.0%、「住民集会やアンケートなどによって、広く住民の意識や意向を反映する」が43.5%となっています。

②男女別

○「市長や議会がリーダーシップをとって検討する」と「市役所の検討委員会で十分に検討、協議を重ねる」では、男性が女性より約5%高くなっています。

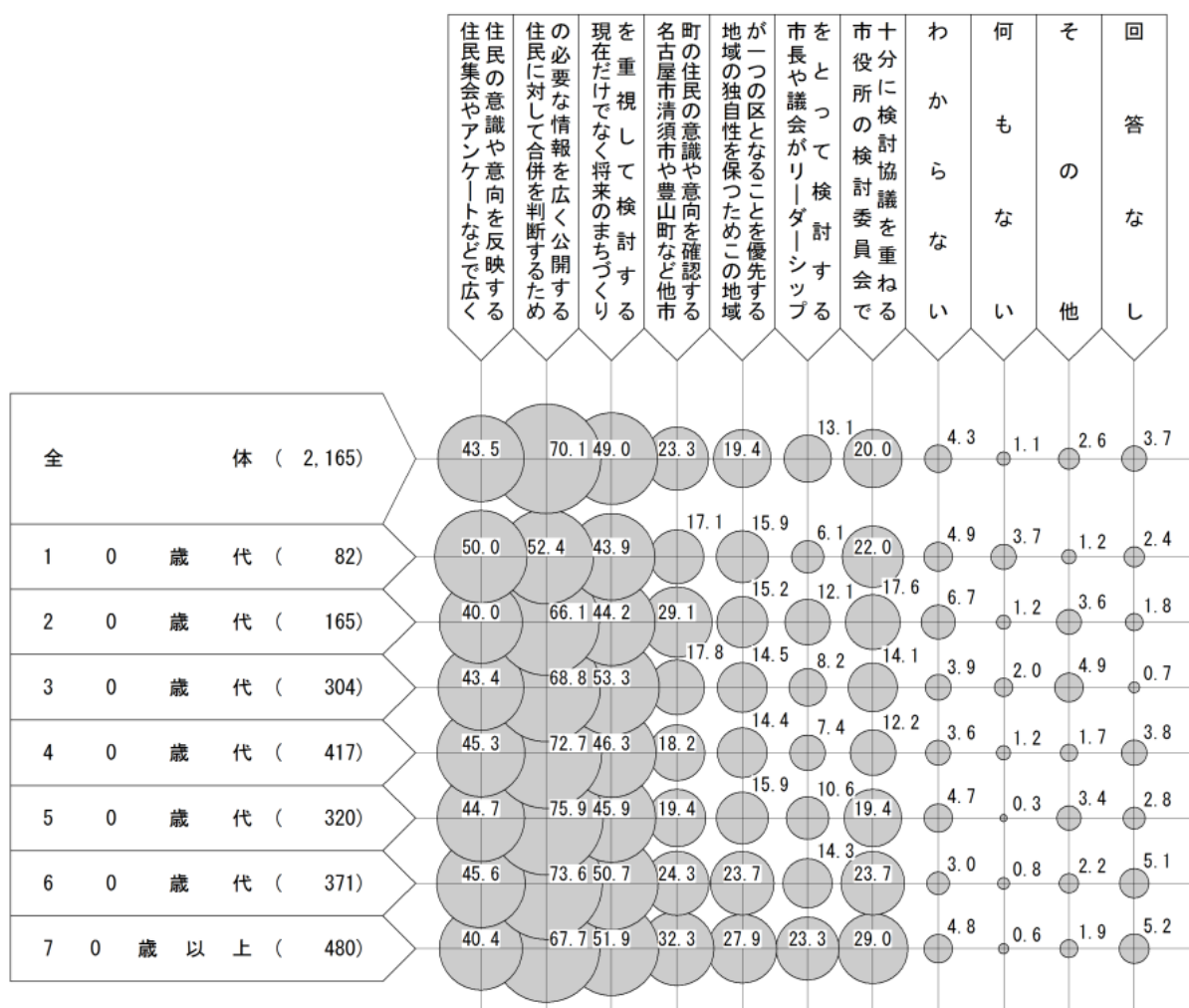
図表2-3 男女別「名古屋市との合併を検討するにあたり重視すること」



③年代別

○50 歳代と 60 歳代で「住民に対して、合併を判断するための必要な情報を広く公開する」(73%以上)、30 歳代で「現在だけでなく、将来のまちづくりを重視して検討する」(53.3%)、10 歳代で「住民集会やアンケートなどで広く住民の意識や意向を反映する」(50.0%) が、他の年代よりも高くなっています。

図表 2-4 年代別「名古屋市との合併を検討するにあたり重視すること」



(3) 名古屋市との合併において期待すること

問 2 あなたが、名古屋市との合併について期待されるのは、どのようなことですか。(いくつでも○印をつけてください。)

①回答者全体

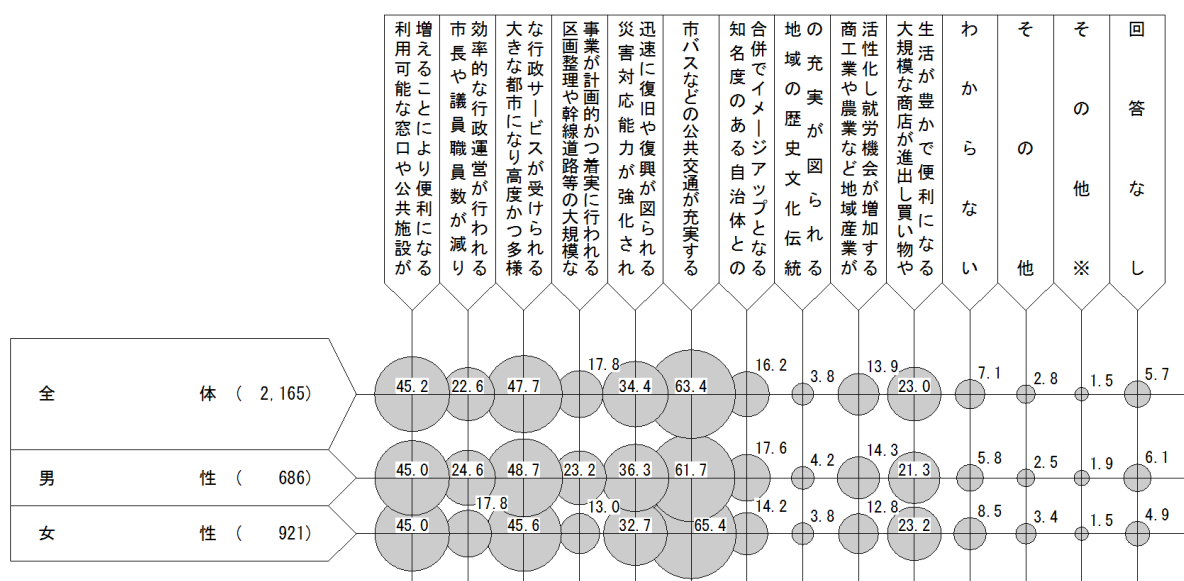
○「市バスなどの公共交通が充実する」が 63.4%と最も高く、「大きな都市になり、高度かつ多様な行政サービスが受けられる」と「利用可能な窓口や公共施設が増えることにより、便利になる」が 45%以上でほぼ並んでいます。

○次いで、「災害対応能力が強化され、迅速に復旧や復興が図られる」が 34.4%で、そのほかの項目は 25%未満となっています。

②男女別

○男性では、「区画整理や幹線道路などの大規模な事業が計画的かつ着実に行われる」が 23.2%と女性 13.0%より高く、女性では、「市バスなどの公共交通が充実する」が 65.4%と男性 61.7%よりやや高くなっています。

図表 2-5 男女別「名古屋市との合併において期待すること」



「その他※」：その他（特になし、期待することはない）

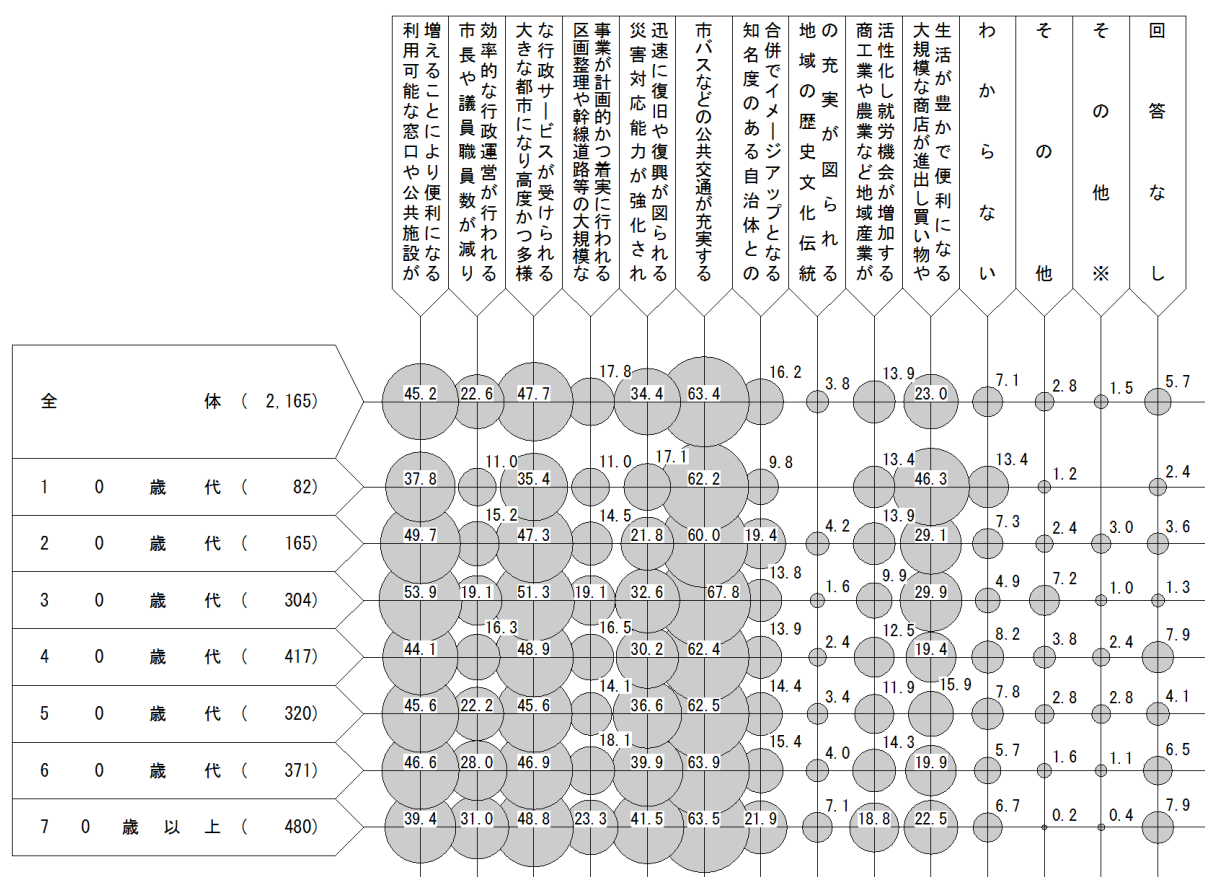
③年代別

○30 歳代で「市バスなどの公共交通が充実する」(67.8%)と「大きな都市になり、高度かつ多様な行政サービスが受けられる」(51.3%)、20 歳代と 30 歳代で「利用可能な窓口や公共施設が増えることにより、便利になる」(概ね 50%以上)で、他の年代よりも高くなっています。

○10 歳代から 30 歳代で「大規模な商店が進出し、買い物や生活が豊かで便利になる」(概ね 30%以上)が他の年代より高く、特に 10 歳代では 46.3%に達しています。

○60 歳代と 70 歳以上で「災害対応能力が強化され、迅速に復旧や復興が図られる」(約 40%)などの項目で、さらに 70 歳代以上では「区画整理や幹線道路などの大規模な事業が計画的かつ着実に行われる」(23.3%)など多くの項目で、他の年代よりも高くなっています。

図表 2－6 年代別「名古屋市との合併において期待すること」



「その他※」：その他（特になし、期待することはない）

(4) 名古屋市との合併において心配すること

問 3 あなたが、名古屋市との合併について心配されるのは、どのようなことですか。(いくつでも○印をつけてください。)

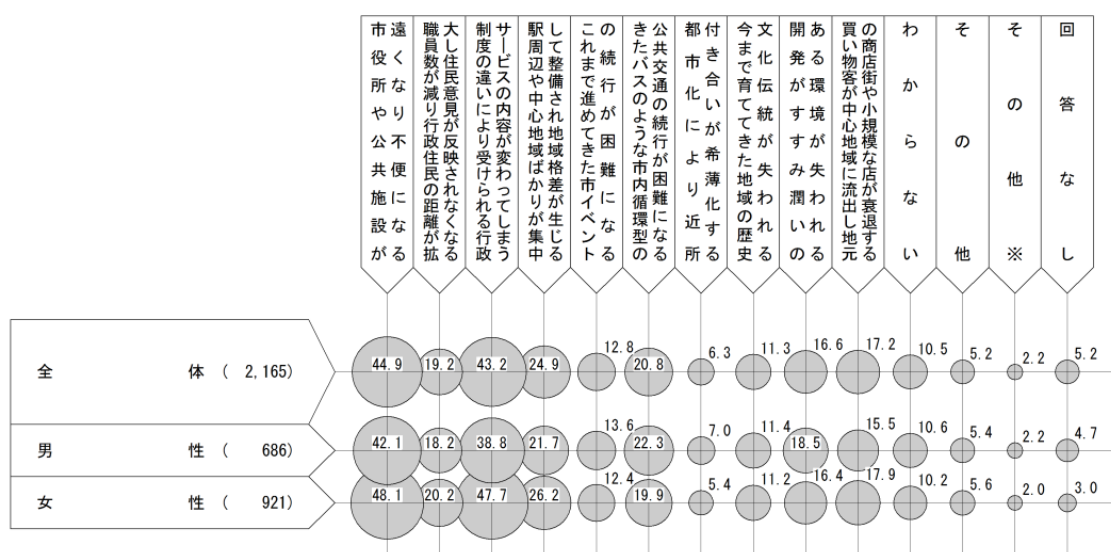
①回答者全体

○「市役所や公共施設が遠くなり、不便になる」が 44.9%、「制度の違いによって、受けられる行政サービスの内容が変わってしまう」が 43.2%と高くなっています。
○次いで、「駅周辺や中心地域ばかりが集中して整備され、周辺部と地域格差が生じる」が 24.9%、「きたバスのような市内循環型の公共交通の続行が困難になる」と「議員、職員数が減り、行政と住民の距離が拡大し、住民の意見が反映されなくなる」が約 20%となっています。

②男女別

○女性では、「制度の違いによって、受けられる行政サービスの内容が変わってしまう」が 47.7%と男性 38.8%より高くなっています。また、「市役所や公共施設が遠くなり、不便になる」が 48.1%と男性 42.1%より高くなっています。

図表 2-7 男女別「名古屋市との合併において心配すること」

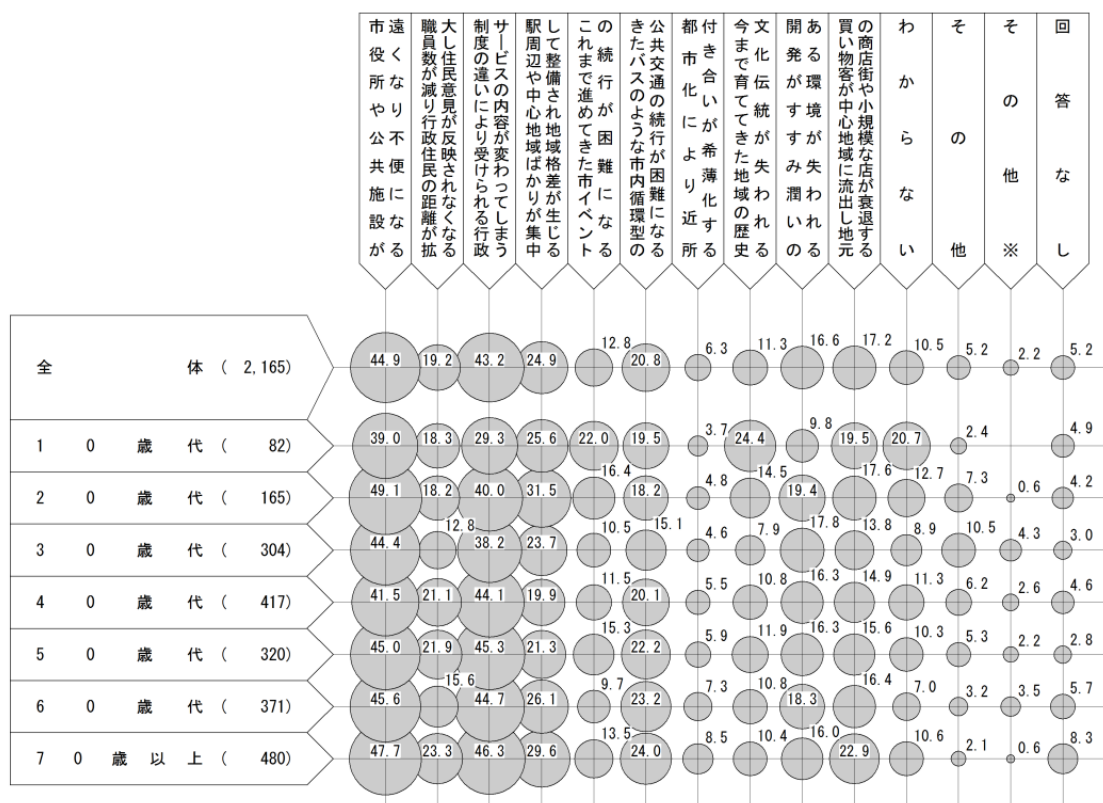


「その他※」：その他（特になし、心配することはない）

③年代別

○20 歳代で「市役所や公共施設が遠くなり、不便になる」が 49.1%、10 歳代で「これまで進めてきた市イベントの続行が困難になる」と「今まで育ててきた地域の歴史、文化、伝統が失われる」（22%以上）が他の年代よりも高くなっています。

図表 2－8 年代別「名古屋市との合併において心配すること」



「その他※」：その他（特になし、心配することはない）